

幕府・諸藩の財政難と対応策

収入の停滞(新田開発とその限界)と支出の増大→財政難→改革の必要性

(a) 支出の削減→家臣の俸禄を削減…1借り上げ(2借知)の増加 ※3半知(半減)の場合も

→家臣の生活難 ※旗本も深刻…内職、札差から借金、4御家人株の売却(養子縁組)など

(b) 農村への規制と収奪強化

(c) 物価調整と商業発展の抑制 <例>5儉約の奨励・強制

享保の改革

6吉宗 8代 1716～45. 7代家継は子がないまま没→7紀州藩主から将軍へ

☆8享保の改革(91716～45)…家康を目標(鷹狩・水練など武芸奨励) 側用人政治の否定

人材登用<例>10荻生徂徠、11室鳩巢(儒者)らを重用

12田中丘偶…治水事業 川崎宿の本陣名主→代官へ 『民間省要』

A. 旗本保護・財政改革

①13相对济し令(1719)…旗本・御家人の金銀貸借訴訟を受理しない(当事者間で処理)

旗本・御家人の救済、訴訟事務の簡素化 →以後の金銭借用が困難に →1729. 緩和

②14上米(1722)…大名の知行151万石につき百石上納、16参勤交代の在府を半年に

→一定の効果(年187,000石) →1731. 廃止

③17足高の制(1723)…在職中のみ役職に見合った俸禄(石高)を与える制度(従来は加増した)

経費節減・人材登用 <例>18大岡忠相(町奉行)、のりむら松平乗邑(老中)

④19儉約令(1724) ※大奥も縮小

B. 農村対策

⑤20質流地禁止令(質流れ禁令)(1722)…田畑の質流しを禁止→本百姓経営の維持をはかる

→出羽・越後で21質地騒動(農民が質地返還を要求)などの混乱 →1723. 撤回

⑥22新田開発の奨励…特に商業資本の導入(23町人請負新田)

⑦ 税の徴収法の転換(年貢増徴)…24定免法の採用→農民生活の圧迫 ※税率を五公五民に?

※勘定奉行神尾春央「26胡麻の油と百姓は絞れば絞るほどでるものなり」

C. 物価・米価の調整→いずれも不成功

※吉宗は「27八木將軍」「米公方」と呼ばれた ※米の増産→米価の下落→財政難の悪循環

⑧28株仲間を公認(1721・1726)…物価調整、運上・冥加徴収

⑨29堂島米市場を公認(1730)…米価の調節

⑩ 貨幣改鑄…物価調整 享保金銀(良貨)・元文金銀(悪貨) →混乱

D. その他

①³⁰漢訳洋書の輸入制限の緩和(1720)…キリスト教に関係のないものは認める

³¹青木昆陽(儒者)・³²野呂元丈(本草学者)にオランダ語を学ばせる→『阿蘭陀本草和解』(野呂)

② 各種農作物の作付奨励…飢饉対策や輸入の削減

〈例〉³³甘藷…サツマイモ ³⁴青木昆陽(儒者)『蕃薯考』

³⁵甘蔗…サトウキビ 落合孫右衛門の進言 ³⁶朝鮮人参…強壮剤に 朝鮮から輸入

③ 民政の充実 〈例〉³⁷目安箱の設置(1721)…投書箱、幕政への不満の解消

→³⁸小石川養生所 や³⁹町火消(いろは四十八組)の設置 ※大岡忠相の活躍

…小石川薬園内 医師小川篁 船 貧民救済

④ 法典の整備 〈例〉『⁴⁰公事方御定書』(1742)…過去の判例を集めて成文法に

…上巻(刑事・行政)・下巻(刑法:『⁴¹御定書百箇条』)

連坐の廃止など 大岡忠相中心に編纂

『⁴²御触書寛保集成』(1744)…法令集 以後も追加

結果

①幕政緊縮に成功

②財政の安定 1735. 黒字 1744. 年貢収入高は最高に

③社会の動揺 〈例〉米価の変動、百姓一揆、⁴³打ちこわし(江戸では初)

※⁴⁴御三卿…吉宗の子(⁴⁵田安宗武・⁴⁶一橋宗尹)・孫(⁴⁷清水重好) 江戸城内に邸宅

【正誤問題に挑戦】〈1997B本試験より〉

- (1) 徳川吉宗が登用した青木昆陽は、甘藷の栽培にあたり、オランダ語を学んだりした。○
- (2) 幕府は広く人材を集めることを目的に、庶民が有能な人材を推薦する目安箱の制度を設けた。